

栃木市非核平和都市宣言

わが国は、広島・長崎に投下された原子爆弾による世界で唯一の戦争被爆国です。多くの犠牲のもとに戦争の悲惨さ、平和の大切さを学んだ日本国民は、憲法に恒久平和の理想を掲げ、その実現に努めてきました。

しかし、世界各地に核兵器が存在し、人類はその脅威にさらされ続けています。さらに、わが国では東日本大震災による原子力発電所の事故が発生し、再び放射性物質の被害と向き合うことになりました。

栃木市は、豊かな自然に恵まれ、歴史と伝統に育まれてきたまちです。このまちを誇りに思う栃木市民は、核兵器の脅威のない平和で安心して暮らせる社会の実現を求めて自ら行動し、未来を支える子どもたちに戦争の悲惨さ、平和の大切さを伝えていくことを誓います。

そして、核兵器の廃絶と平和で安心して暮らせる社会の実現を全世界の人々に強く訴え、ここに栃木市が「非核平和都市」であることを宣言します。

平成24年3月1日

栃木県栃木市

栃木市は非核平和都市です

今月の注目情報

本 本庁

〒328-8686
万町9-25
☎21-2316
FAX21-2673

大平総合支所

〒329-4492
大平町富田558
☎43-9205
FAX43-8818

藤岡総合支所

〒323-1192
藤岡町藤岡1022-5
☎62-0900
FAX62-4625

都賀総合支所

〒328-0192
都賀町家中5982-1
☎29-1100
FAX28-0169

西方総合支所

〒322-0692
西方町本城1
☎92-0300
FAX92-2611

岩舟総合支所

〒329-4392
岩舟町静5133-1
☎55-7751
FAX55-4910

休日にお困りの時は
本庁日直 ☎(22) 3535



栃木市防災ラジオ販売のお知らせ

市では、コミュニティFM放送局「FMくらら857」の開局に伴い、災害や気象情報及び避難に関する情報を迅速・的確に市民等に伝達するため、防災ラジオ（緊急告知ラジオ）の購入補助を行います。購入を希望される方は、折込チラシの「栃木市防災ラジオ販売のお知らせ」か市ホームページをご覧ください。

- ◆販売金額 7,500円 ※75歳以上の高齢者のみの世帯は2,500円
- ◆販売台数 400台(先着順)
- ◆申込み方法 「防災ラジオ有償配布申込書」に必要事項を記入のうえ、☑危機管理課または各総合支所地域づくり推進課へ提出ください。
- ◆受付期間 8月1日(月)～10日(水)まで(土・日を除く)
- ◆問合先 ☑危機管理課 ☎(21)2551



日 時 8月26日(金) 18時～19時
場 所 市役所本庁舎3階正庁
対 象 どなたでも
内 容 市立中学校2年生28人で構成される広島平和記念式典中学生派遣団が広島市を訪れ、戦争や広島への原子爆弾の投下について学んでいきます。中学生が広島への派遣を通して学んだことや感じたことを、報告会にて発表します。ぜひご来場ください。

広島平和記念式典中学生派遣団活動報告会

問合先 ☑総務課 ☎(21)2342

市では、核兵器廃絶と世界の恒久平和を求める非核平和を推進することを表明するため、平成24年3月1日に「非核平和都市宣言」をしました。この宣言に基づき各種啓発事業を実施しています。戦争の悲惨さや平和の尊さについて、改めて考えてみてください。

※市の非核平和事業については、広報とちぎ10月号にて詳しくお伝えする予定です。

住宅用火災警報器を設置しましょう



設置場所は？

1. 寝室 2. 寝室のある階の階段部分

寝室・階段部分への設置は義務です。「煙感知器」を設置しましょう。市では台所への設置は任意ですが、「熱感知器」を設置し、火災を予防しましょう！



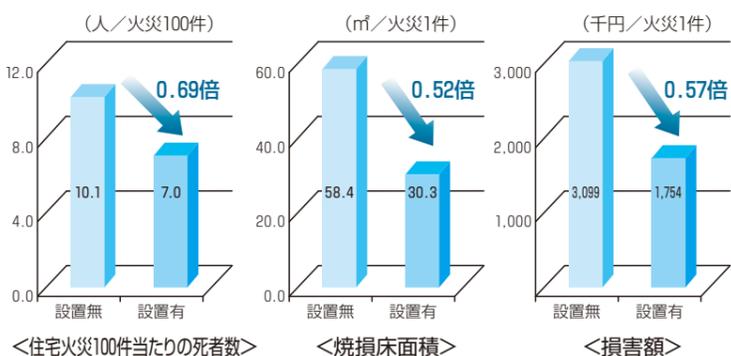
※1…1階部分不要

購入先は？

お近くのホームセンターや電気店などで購入できます。
なお、価格は、メーカーや種類、機能等により異なります。
※消防職員が訪問して販売することはありません。

住宅用火災警報器の設置効果は？

※平成24年から平成26年までの3年間における失火を原因とした住宅火災 (総務省消防庁調べ)



住宅用火災警報器の設置により、死亡や建物の焼損を防ぐことができ、損害も減らすことができます。

◆問合先 消防本部予防課 ☎(22)0072

市長通信



平成28年度の主な事業③

市民の皆さん、こんにちは。
去る5月の、米国のオバマ大統領の広島訪問をきっかけとして、今、世界では日本の非核平和政策に対する関心が高まりを見せています。本市では、平成24年に行った「非核平和都市宣言」に基づき、平和な社会の実現のための啓発事業や、中学生の広島平和記念式典への派遣事業などを行ってまいりました。
子どもたちの未来が平和で安全な社会となるよう、引き続き、これらの事業に力を入れてまいりたいと思います。

さて、今回は、6月からお知らせをしてまいりました、平成28年度の主な事業の最終回です。前回までと同様、栃木市総合計画から、今回は第5・第6・第7の基本方針をもとに、6つの重点事業についてご紹介いたします。

第5 健やかに人を育み学び続けられるまちづくり

①(仮称)文化芸術館等整備事業 [5,792万円]

新規事業

市の歴史・文化・芸術等の拠点となる施設として、(仮称)文化芸術館、(仮称)文学館等を、旧市役所本庁舎跡地並びに旧市役所別館に整備します。

②重伝建地区拠点施設整備事業 [2,673万円]

新規事業

国の重要伝統的建造物群保存地区である嘉右衛門町内の味噌製造工場跡地を取得し、文化財や周辺に残る歴史的建造物と一体となった街並みの保存を図り、人

と文化の交流を目的とした活用を目指して、まちづくりの拠点施設として整備します。



No.43

第6 いきいきと働き賑わいのあるまちづくり

①部屋南部地区かんがい排水事業 [1,542万円]

新規事業

藤岡地域の部屋地区における、農地の湛水被害の軽減と、住宅の浸水被害を防止するため、石川排水機場の更新整備と、既存排水路の改修を行います。

②栃木市農業ビジョン策定事業 [150万円]

新規事業

本市の農業が産業として成長・発展し、市の特性を活かした強い農業・戦略的な農業を将来にわたって計画的に推進できるよう、具体的なビジョンを策定します。

③吾一からくり時計設置事業 [2,000万円]

新規事業

新たな観光資源PRの一環として、本市が輩出した文豪山本有三の名作「路傍の石」に因んだ「吾一からくり時計」を、市民団体の寄附を活用して設置します。

第7 共に考え共に築き上げるまちづくり

①地域予算提案事業 [2,346万円]

新規事業

地域にお住まいの方が、各地域の地域会議において、一定の枠内で市の予算の使い道を考える事業です。これにより、地域の多様な課題を効率的に解決していきます。

以上が今年度の主な事業の説明になります。

長期予報によれば、この夏は気温が高く蒸し暑い夏となるそうです。熱中症などには十分気をつけて、ぜひ夏を元気に乗り切ってください。

栃木市長 鈴木俊美